

センシズが
いま想うこと

植物は本来、可燃廃棄物ではなく土に還るもの。

大地が痩せているといわれる中、花や植物残渣を堆肥として土に戻すことで大地は少しずつ豊かになり、水分を多く含み焼却負担の大きい植物廃棄物も減らせるのではないかと。植物も経済も社会も《循環》させる。

その思いから本事業^{*1}に応募し小さな一歩を踏み出しました。花を扱う仕事だからこそ、環境に配慮しなければ花の仕事自体が持続できなくなるのではという危機感を持っています。

販売するだけでは半分、役目を終えた先まで眼差しを向け、花が土に還り次の花を育てる《循環》を行うことが私たちの役割だと捉えています。

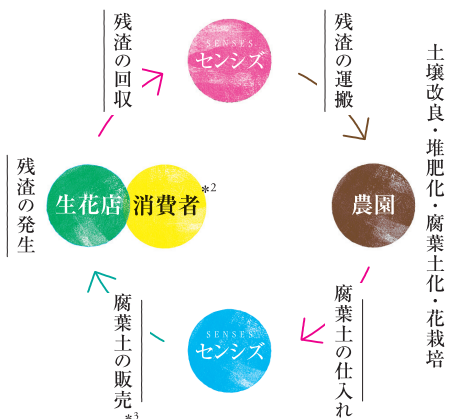
この検証を「緒」に、地域や業界へと広がる仕組みへ育てていきたいと考えています。

^{*1} サークュラーエコノミーの実現に向けた社会実装化事業

植物循環の
仕組み

生花店で出る葉や茎の余り、役目を終えた花や枝も最終的に可燃焼却となります。その「残渣」^{ざんさ}を資源として捉え、廃棄せずに堆肥化し、その堆肥で育った花を販売し《循環》させる、持続可能な花のありかたを目指す取り組みです。

植物残渣の《循環》のイメージ



^{*2} 次フェーズを想定

^{*3} 「センシズの腐葉土」として



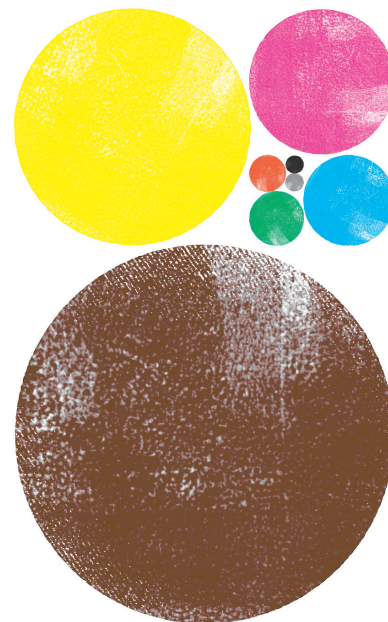
SENSES

Flowers Foliage Plants

info@sensesflower.jp
instagram: sensesflower

sensesflower.jp

循環の仕組み



SENSES



要旨

植物残渣を可燃焼却せず
資源として「堆肥化」する。
そして、次の「資源」を生み出す
《植物循環》の取り組み。

SENSESは、「TOKYOサーキュラーエコノミー
アクション（公益財団法人東京都環境公社）^{*}」に応募
し採択を受け、植物残渣を堆肥化する実証
検証を行いました。これは今後続く検証
段階ですが、この結果を精査し、業界や地
域を巻き込んだ実装に向けての次のフェー
ズに移りたいと考えています。

^{*} 東京都は、「2050年 CO2 排出実質ゼロ」に貢献する
「ゼロエミッション東京」の実現に向け、サーキュラーエ
コノミーへの移行・持続可能な資源利用を推進していま
す。東京都と公益財団法人東京都環境公社は、地域密着型
のサーキュラーエコノミーの実現を目指す取組の社会実装
化を支援しています。（参考：都庁総合ホームページ）

目的と効果

植物残渣を地球の資源と捉え、可燃焼却
せずに大地に戻し堆肥化や土壌改良にする事
で可燃廃棄物を削減し、焼却炉の負担を軽
減、温室効果ガスの削減に貢献するものと
考えます。また、堆肥化する事で土壌の回
復と再生に寄与し、その大地からの新たな
資源や原材料の創出を期待出来ると考えて
います。脱炭素と資源の《循環》を行い、新
たな原材料を生み出し経済効果を見込める、
新たなスタンダードとなり得る、モデル事
業の実装を目指したいと考えています。

期待される《効果》

可燃廃棄物の削減、焼却炉負担
の軽減により、温室効果ガス削
減に貢献
土壌の回復と再生に寄与
新たな資源や原材料を創出し、
販売を通じた《循環》経済の構築
耕作放棄地の有効活用、放棄地
の土壌再生
環境保全を通し、資源と経済の
《循環》を創出

連携事業者

令和7年度(2025)に採択された「サーキュ
ラーエコノミーの実現に向けた社会実装
化事業（東京都）」での連携事業者さま

生花店

- Trump Flowers 東京都世田谷区
- yohaku 東京都世田谷区 ほか

農園

- 安部植木 東京都青梅市
- 八雲のはたけ 東京都目黒区

土壌診断

- UPDATER（みんな大地） 東京都世田谷区

堆肥化コンサルティング

- コンポスト東京 東京都渋谷区